

**事業年度** 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
**定時株主総会** 毎年6月  
**基準日** 毎年3月31日  
その他必要あるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。

**期末配当の基準日** 毎年3月31日  
**株主名簿管理人および特別口座管理機関** みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

**事務取扱場所** 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
**郵便物送付先** 〒168-8507  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

**電話お問い合わせ先** 0120-288-324 (フリーダイヤル)  
受付時間/9:00~17:00 (土日祝日を除く)

**特別口座に関する事務取次所** みずほ信託銀行株式会社 全国各支店  
みずほインベスターズ証券株式会社 全国本支店

※住所変更等の事務手続きは、お取引の証券会社等にてお手続きください。

**公告方法** 電子公告により行う。

**公告掲載 URL** <http://www.sbigroup.co.jp/investors/koukoku/>

※ただし、事故等やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。

## ●株主さまのご住所・お名前等に使用する文字に関するご案内

株券電子化実施に伴い、株主さまのご住所・お名前等の文字に、株式会社証券保管振替機構(ほふり)が振替制度で指定していない漢字等が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿に記録いたしております。

このため、株主さまにご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置き換えられる場合がありますのでご了承ください。

株主さまのご住所・お名前等として記録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

なお、特別口座にて管理させていただいております株主さまには、平成21年2月に「特別口座開設のご案内」をお送りしており、そのご案内の中のご注意事項で使用文字の制限についてご案内しております。

## ホームページのご紹介

当社ホームページでは、最新のニュースリリースや決算情報をはじめ、決算説明会の様子を動画で配信するなど、株主・投資家の皆さま向け情報を掲載しています。ぜひ、ご覧ください。



<http://www.sbigroup.co.jp/>

# 株主通信

SBIホールディングス株式会社

## 第11期 報告書

2008年4月1日~2009年3月31日

SBIホールディングス株式会社

〒106-6019 東京都港区六本木一丁目6番1号

TEL.03-6229-0100 FAX.03-3224-1970

E-mail: [inq-ir@sbigroup.co.jp](mailto:inq-ir@sbigroup.co.jp)

### 〈免責事項〉

この報告書に記載されている、SBIホールディングス(株)および連結子会社の現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実のないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは各資料発表時点においてSBIホールディングス(株)の経営方針により、入手可能な情報およびSBIホールディングス(株)が合理的であると判断した一定の前提に基づいて作成したものです。したがって、主要市場における経済情勢やサービスに対する需要動向、為替相場の変動など、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている見通しとは、異なる結果となり得ることをご承知おきください。

## ごあいさつ

株主の皆さまには、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は当社事業にご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

米国の金融不安に端を発した世界同時不況は、わが国企業にも極めて厳しい影響を与えております。このような経営環境のもと、当社グループの当期連結決算は、主要事業部門で営業黒字を確保したものの、株式市況の悪化等による有価証券評価損等が大きく影響し、当期純損失を計上いたしました。しかしながら当社グループにおいては、ネット銀行・ネット生損保など株式市況に左右されにくい新規事業の早期収益化に向けた様々な取り組みを実施するとともに、グループ内組織の再編成など経営効率向上への施策も継続しております。また、株式相場反転後の成長機会を捉えるべく、ネット証券事業におけるシェアの拡大や海外投資体制の整備などにも注力しております。

今後とも、当社事業の発展と企業価値の向上へ向けて、全役職員一同尽力してまいります。株主の皆さまにおかれましては、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。



SBIホールディングス株式会社  
代表取締役 執行役員 CEO

北尾 吉孝

## 当期決算のポイント

### ポイント1

株式市況の悪化等により計上した有価証券評価損等は147億円(2009年3月期通期)

### ポイント2

未曾有の市場環境の中、主要事業部門※はいずれも営業黒字を確保

### ポイント3

2007年度以降営業を開始した新規事業の一部は、早くも収益に貢献

※アセットマネジメント事業、ブローカレッジ&インベストメントバンキング事業、ファイナンシャル・サービス事業、住宅不動産関連事業

代表者写真:『財界』2008年10月21日号より

## Q 当期の業績について

当期の当社事業を取り巻く経営環境は、非常に厳しいものがあり、株式市況の悪化等により計上した有価証券評価損等は147億円となりました。

しかし、このような最悪の市場環境下においても、主要事業部門ではいずれも営業黒字を確保いたしました。また、住信SBIネット銀行においては四半期ベース(2009年1月~3月)で初の黒字化を達成し、昨年11月に営業を開始したSBIリクイディティ・マーケット(FX取引の市場機能提供等)は当初の予想収益寄与額を大幅に上回り、当期において8億4,000万円の営業利益貢献を果たすなど、新規事業の一部が、早くも収益に貢献しつつあります。

## Q 今後の配当政策について

当社はこれまで、株主の皆さまに対する安定的かつ適正な利益還元を目指すとともに、内部留保による競争力・収益力の向上に向けた事業投資を積極的に行うため、グループ企業を含めた連結業績および当社株価の状況等を総合的に勘案した上で剰余金の配当等を実施することを基本方針としておりました。

このたび、業績に連動した利益配分の水準をより明確にするため、2010年3月期以降については、連結当期純利益

## 2009年3月期通期における有価証券評価損等計上について

有価証券評価損による営業費用  
+ 特別損失合計 **102億円**

- ◆ 営業投資有価証券 評価損 … 営業費用として計上  
→ ファンドを通じて保有する(株) VSN株式など27億円
- ◆ 投資有価証券 評価損 …… 特別損失として計上  
→ 株式を相互保有する住友信託銀行(株) 株式など75億円

セムコーポレーション社  
販売用不動産評価損及び貸倒引当金繰入(営業費用) **7億円**

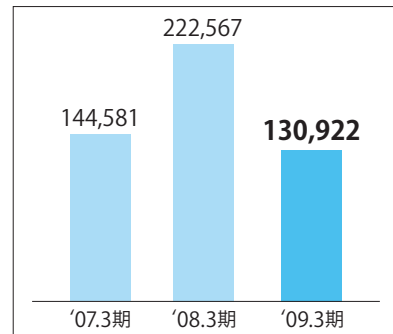
ブロードメディア社  
持分法投資損失(特別損失) **13億円**

ゼファー社向け貸付金に対応する  
不動産担保評価損(貸倒引当金、特別損失) **24億円**

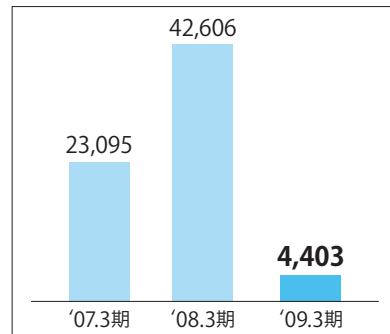
の20~50%を配当性向のめどとすることを基本方針といたします。配当性向20%以上の配当実施を原則とし、持続的な成長のための適正な内部留保の水準、当面の業績見通し等も総合的に勘案して、さらなる利益還元が可能と判断した場合には、50%を上限として配当性向を都度引き上げることを目指すことにいたします。また、原則として中間配当は行わず、期末配当に一本化することといたしました。

# 決算ハイライト

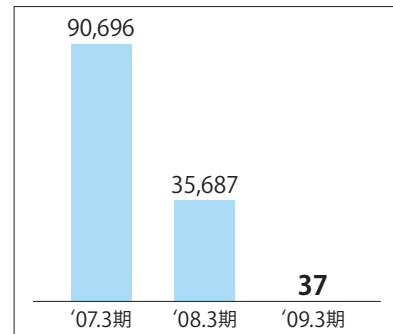
◆売上高(百万円)



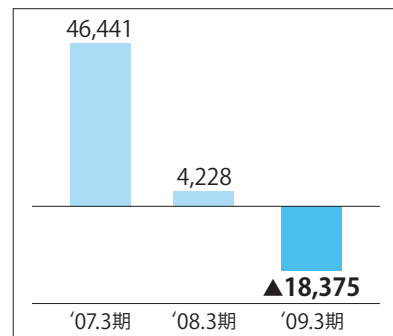
◆営業利益(百万円)



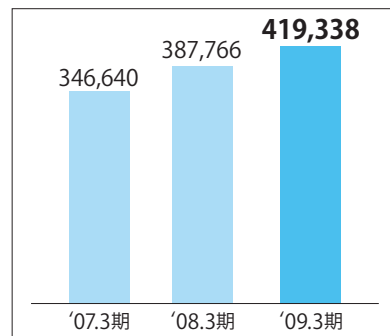
◆経常利益(百万円)



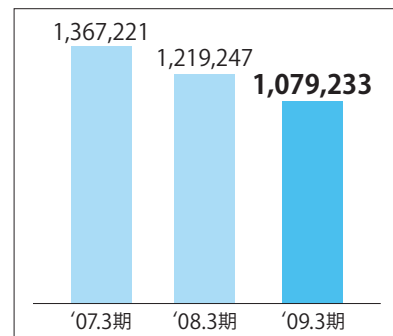
◆当期純利益(純損失)(百万円)



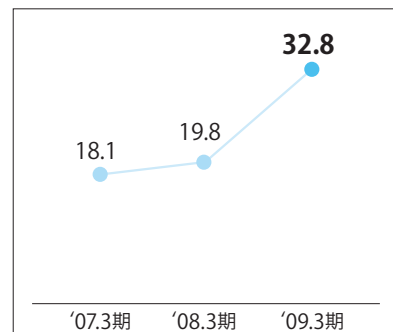
◆純資産(百万円)



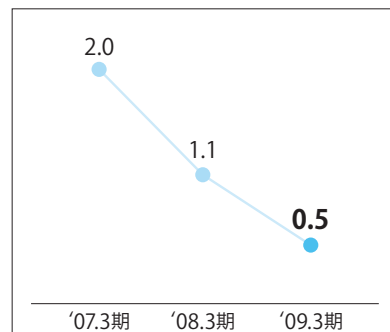
◆総資産(百万円)



◆自己資本比率(%)



◆PBR(株価純資産倍率)(倍)



$$PBR = \frac{\text{各期末当社株式東証終値}}{\text{各期末1株当たり純資産}}$$

(2009年3月末当社株式東証終値: 10,190円)

PERについては、当期において当期純損失となったことから記載しておりません。

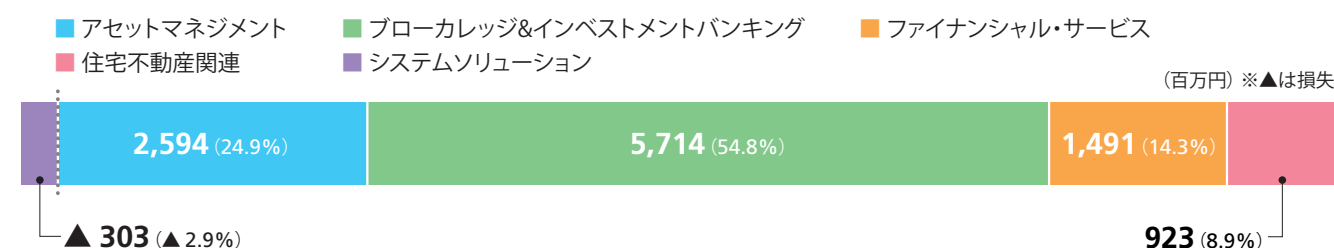
※連結子会社SBI証券における証券会社特有の勘定を考慮すると、'09.3期末の実質的な自己資本比率は52.4% (P.12 ポイント3参照)

# セグメント別業績の概況

## セグメント別業績の推移

セグメント区分	売上高			営業利益 ※▲は損失		
	2008年3月期	2009年3月期	構成比	2008年3月期	2009年3月期	構成比
アセットマネジメント	58,008	15,981	11.8%	16,481	2,594	24.9%
ブローカレッジ & インベストメントバンキング	68,531	49,182	36.4%	20,511	5,714	54.8%
ファイナンシャル・サービス	22,495	22,617	16.8%	849	1,491	14.3%
住宅不動産関連	75,070	40,906	30.3%	8,093	923	8.9%
システムソリューション	322	6,354	4.7%	▲473	▲303	▲2.9%
連結消去及び全社費用	(1,860)	(4,119)	—	(2,856)	(6,016)	—
合計	222,567	130,922	100.0%	42,606	4,403	100.0%

## 営業利益の構成比



(連結消去及び全社費用: 60億16百万円)

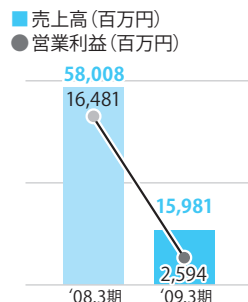
# セグメント別業績の概況

## アセットマネジメント事業

IT・バイオ・バイアウト等のファンド運用、投資商品の組成、および中国やインドなど成長性の高い海外市場へ投資するベンチャーキャピタル・ファンドの設立等を行う事業。

### 決算のポイント

- ◆ 株式市場の冷え込みや新規上場会社数の激減といった極めて厳しい事業環境の中、収穫期に入っているNew Horizon Fundによる46億円の利益貢献等により、営業黒字を維持しました。
- ◆ 投資実行額は当第4四半期(1月～3月)にも230億円を実行し、当期累計での投資実行額は951億円と高水準で推移しました。



グループ運用資産総額の状況  
2009年3月末現在 4,935億円  
(住宅不動産関連セグメント等を含む)

### プライベート・エクイティ 2,412億円

[IT・バイオ等] 合計 1,205億円 インターネット 67 / ブロードバンド・メディア 573 / モバイル 277 / バイオ・その他 287
[環境・エネルギー] 68億円
[バイアウト・メザニン] 合計 352億円 バリュアアップ 192 / メザニン* 160
[海外] 合計 536億円 中国・香港・その他* 359 / ベトナム 82 / インド 96
[直接投資] 251億円

### 投資信託等 1,947億円

投資信託 310 / 投資顧問 1,615 / 投資法人 22

### 不動産等 576億円

開発物件 224 / 稼働物件 352

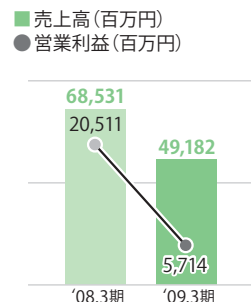
●不動産は投資総額、投資信託・投資顧問等は2009年3月末の時価純資産、その他ファンドは2009年3月時点の各ファンドの直近決算に基づく時価純資産で記載  
●億円未満は四捨五入  
※決算期を迎えていないものについては、出資約束金額ベースで算出

## ブローカレッジ & インベストメントバンキング事業

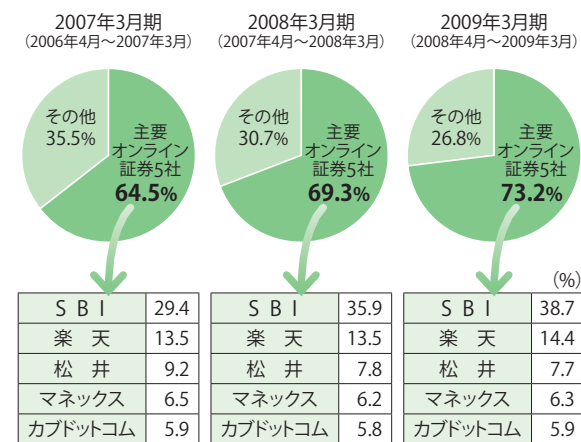
SBI証券を中心に「ネット」と「リアル」の融合を図りながら展開する総合証券事業。

### 決算のポイント

- ◆ 証券市場全体の低迷による委託手数料の減少が影響し、営業収益・営業利益ともに減少しました。
- ◆ 市場シェアについては拡大を続け、2009年3月末の口座数が186万口座、個人株式委託売買代金のシェアは38.7%、個人信用取引委託売買代金シェアは44.7%といずれも過去最高を達成しました。



### SBI証券の個人株式委託売買代金シェアの推移 2009年3月期は過去最高の38.7%に到達



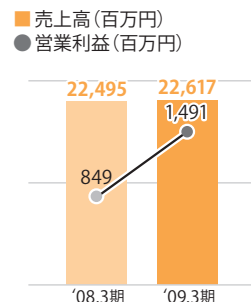
出所: 東証統計資料、JASDAQ統計資料、各社HP等公表資料より当社にて集計  
※個人株式委託売買代金は3市場(1・2部)とJASDAQを合算  
SBI証券はインターネット取引のみで算出

## ファイナンシャル・サービス事業

金融分野における幅広い商品・サービスを、インターネットを通じて提供する事業。2007年度以降、ネット銀行・ネット損保・ネット生保が相次いで開業。

### 決算のポイント

- ◆ 既存事業の営業利益は前期比9%減となりましたが、新規事業の赤字が前期比9億円縮小(ネット損保・生保事業6.6億円、カード関連事業2.7億円改善)したことにより、事業部門の営業利益は76%増の15億円となりました。
- ◆ SBIペリトランスは三井住友カードと連携し、中国人消費者向けネット通販での銀聯カード決済を開始し、「銀聯ネット決済」が可能なECモールをオープンしました。



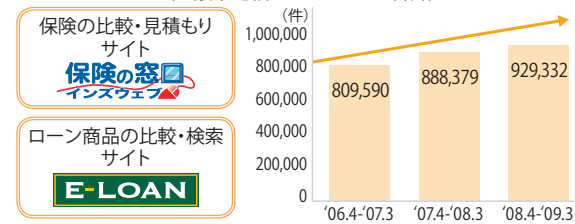
### ECモール「佰宜杰.com (バイジェイドットコム)」



SBIペリトランスが運営を開始した「銀聯ネット決済」が可能なECモール

<http://www.buy-j.com/>

### マーケットプレイス事業の取引件数推移 (金融系比較サイト: 8サイト合計)



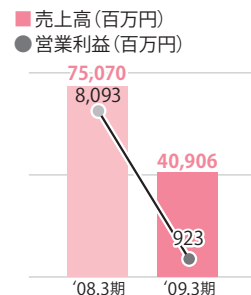
※取引件数は、サイト上で実際に見積もり、資料請求、仮申込等の取引を行った件数

## 住宅不動産関連事業

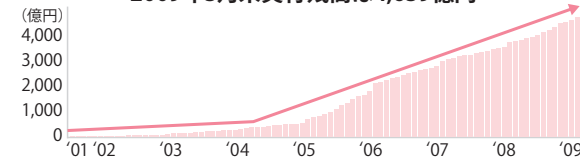
不動産物件への投資、不動産開発、不動産金融事業および多種多様な商品・サービスの販売等に関する事業。

### 決算のポイント

- ◆ 不動産市場収縮の影響等により売上高・営業利益ともに大幅に減少しました。
- ◆ SBIモーゲージの提供する住宅ローン商品「フラット35」は、順調に実行残高を積み上げております。



### SBIモーゲージの住宅ローン実行残高推移 2009年3月末実行残高は4,639億円

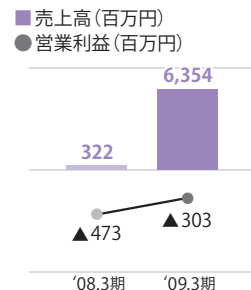


## システムソリューション事業

### システム関連事業。

### 決算のポイント

- ◆ SBIネットシステムズが業績を大幅に改善させたことなどにより、営業損失幅は前期と比べ縮小しました。



## 口座数40万口座を達成——住信SBIネット銀行 **SBI Sumishin Net Bank**

—昨年9月の開業以来、順調に口座数を伸ばしてきている住信SBIネット銀行では、開業当初、目標の1つとして掲げておりました「2010年3月末に口座数40万口座」という目標を、本年3月に1年以上前倒しで達成することができました。

さらに、住宅ローン実行累計額も、取り扱い開始から551日で2,000億円を突破するなど、順調に拡大を続けております。これは、「来店不要で申込み手続きはネットと郵送で完結」や「一部繰上返済が1円から無料で可能」など、インターネット専門銀行ならではの工夫を凝らした商品展開に加え、昨年9月より実施



<http://www.netbk.co.jp/>

した「住宅ローン借換えキャンペーン」が好調で、新規住宅購入に伴う住宅ローンのお申込みだけでなく、他の金融機関さまから借換えのお申込みを多数いただいたことによるものです。

### The Asian Banker誌 「最優秀インターネット専門銀行賞」を受賞

アジア地域の銀行専門誌「The Asian Banker」が主催する「The Asian Banker Excellence in Retail Financial Services Awards 2009 (リテール金融サービス表彰2009)」において、同行が「Best Internet-only Bank Award (最優秀インターネット専門銀行賞)」を受賞いたしました。

これは同業他社と比較して、短期間で相応の預金量を獲得したこと、また2008年度における業績が開業当初に立てた計画(2010年3月期の単年度黒字化)に向けて、好調に推移していることを評価されたものと考えております。

## ポジティブにNo.1を目指します。

開業以来、ネットバンキングの基幹となるウェブシステムなど、フロントシステム全般の企画・開発管理を行っています。

多忙な日々を過ごしておりますが、目の前の業務や新たな開発の先にある会社の成長が見えていると自然とポジティブな気持ちで業務にも取り組めるように思います。



住信SBIネット銀行  
システム第2部 部長 木村 美礼さん

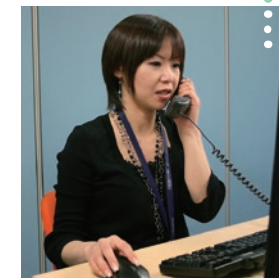
私たちの銀行が1人でも多くのお客さまに、利便性の高い「No.1」銀行として選んでいただけるように、今まで以上に高い意識といひ緊張感を持って、会社に負けないよう日々成長していきたいと思ひます。

社員の声

## 会社の顔としての自覚を持って。

住信SBIネット銀行  
カスタマーセンター アシスタントマネージャー 岡本 恵理さん

私の所属するカスタマーセンターは、電話やメールによるお客さまからのお問い合わせや各種手続きの依頼を受けて対応する部署で、会社の顔として、お客さまからの声を最初に直接受け取ることができる場所でもあります。



お客さまからいただいたご意見・ご要望は毎日カスタマーセンターから全社員に向けて報告し、お客さまの声に最大限スピーディーに対応できるように各部署とも協議しています。

お客さまとの唯一の窓口であることを自覚し、お客さまの立場を深く理解したうえで顧客満足度の向上に努めています。

## 短期間で取引を急拡大——SBIリクイディティ・マーケット **SBI Liquidity Market**

外国為替証拠金(FX)取引におけるマーケットインフラを、証券会社をはじめ金融商品取引業者などに提供するべく準備を進めておりましたSBIリクイディティ・マーケットが、2008年11月17日、SBI証券向けにサービス提供を開始いたしました。

これに伴い、SBI証券では従来のFXサービスと比較してサービス内容を大幅に拡充した『SBI FX α』のサービス提供を開始いたしました。SBI証券における2009年3月のFX取引売買代金は2008年6月の約12倍に急拡大し、当初の収益見込額を大幅に上回る水準でスタートいたしました。

### 『SBI FX α』の特徴

- ◆ 大手ネット証券\*1最多となる20通貨ペアの取り扱い
- ◆ レバレッジの選択肢を拡大\*2
- ◆ 従来の10分の1の1,000通貨単位での取引が可能な「SBI FXミニ」を新設
- ◆ 注文方法を追加し、多様な注文パターンに対応

\*1: SBI証券、マネックス証券、松井証券、カブドットコム証券、楽天証券の5社  
\*2: 約10倍から最大約100倍の選択が可能に(従来は約10倍のみ)

SBIリクイディティ・マーケット  
代表取締役社長 重光 達雄さん



SBIリクイディティ・マーケットは、証券会社等のFX業者を通じての為替市場機能の提供およびそれにかかわるマーケットインフラのシステム提供を行っています。私たちはこれらのサービスを、東京～ロンドン～ニューヨークと24時間眠らないマーケットに対応すべく、土日以外休みなく提供しています。

当社の特徴といえば、システムのスピード、それにレートの確定度が高い点が挙げられると思ひます。SBI証券の『SBI FX α』ではディーリングボー

## これからも24時間、スピーディー & 安全・安心に。

ドで、まさに外国為替ディーラーと同じような環境で、取引を行うことができます。

FX取引の歴史は比較的浅く、日本版金融ビッグバンの一環として1998年に外為法改正の結果誕生しました。今ではインターネットのFX取引は投資商品として定着しており、今後さらなる拡大が見込まれます。

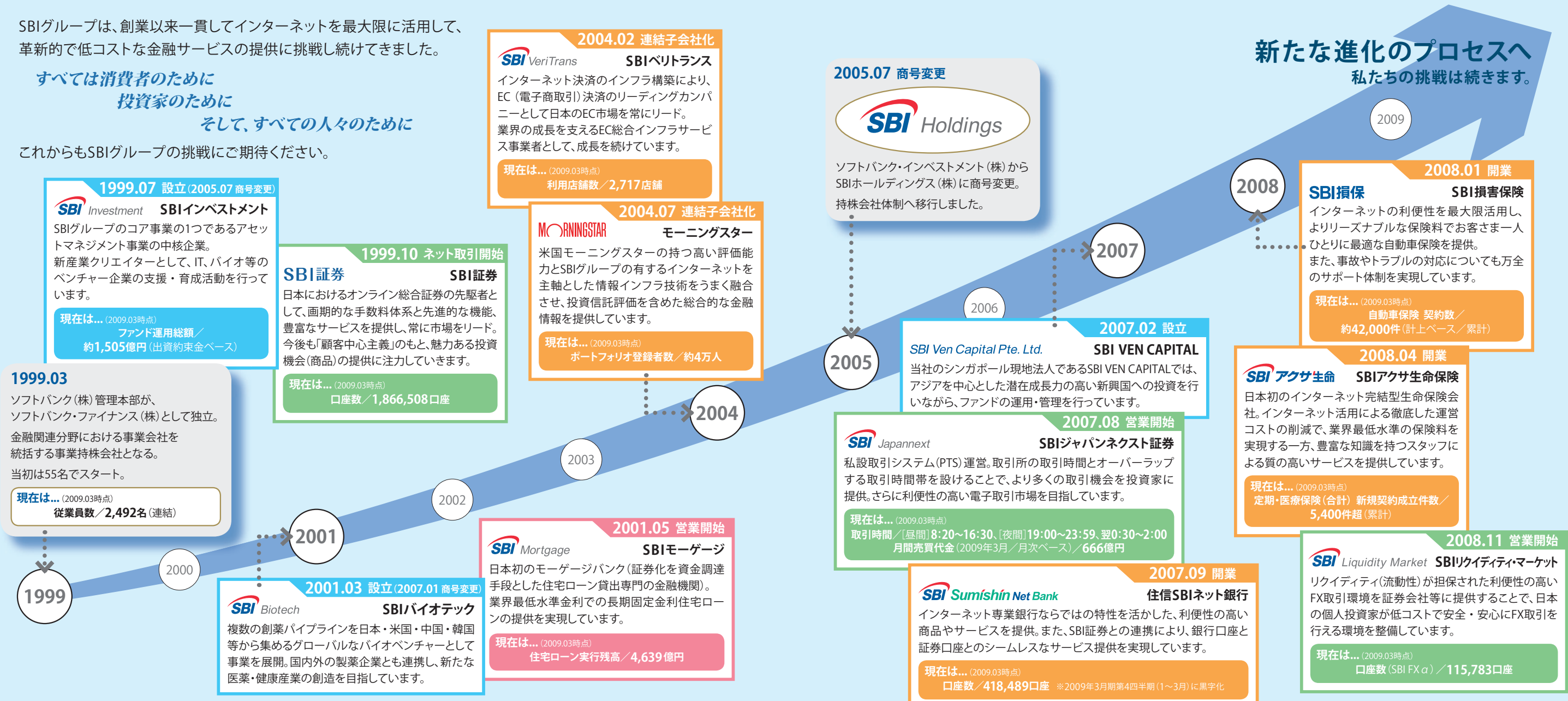
当社はこれまで以上に、投資家の皆さまが安全かつ安心にFX取引ができるマーケットインフラの整備を進めてまいります。

SBIグループは、創業以来一貫してインターネットを最大限に活用して、革新的で低コストな金融サービスの提供に挑戦してきました。

すべては消費者のために  
投資家のために  
そして、すべての人々のために

これからもSBIグループの挑戦にご期待ください。

新たな進化のプロセスへ  
私たちの挑戦は続きます。



**1999.03**  
ソフトバンク(株)管理本部が、ソフトバンク・ファイナンス(株)として独立。金融関連分野における事業会社を統括する事業持株会社となる。当初は55名でスタート。

現在は... (2009.03時点)  
従業員数 / 2,492名 (連結)

**1999.07 設立 (2005.07 商号変更)**  
**SBI Investment SBIインベストメント**  
SBIグループのコア事業の1つであるアセットマネジメント事業の中核企業。新産業クリエイターとして、IT、バイオ等のベンチャー企業の支援・育成活動を行っています。

現在は... (2009.03時点)  
ファンド運用総額 / 約1,505億円 (出資約束金ベース)

**2001.03 設立 (2007.01 商号変更)**  
**SBI Biotech SBIバイオテック**  
複数の創薬パイプラインを日本・米国・中国・韓国等から集めるグローバルなバイオベンチャーとして事業を展開。国内外の製薬企業とも連携し、新たな医薬・健康産業の創造を目指しています。

**1999.10 ネット取引開始**  
**SBI証券**  
日本におけるオンライン総合証券の先駆者として、画期的な手数料体系と先進的な機能、豊富なサービスを提供し、常に市場をリード。今後も「顧客中心主義」のもと、魅力ある投資機会(商品)の提供に注力していきます。

現在は... (2009.03時点)  
口座数 / 1,866,508口座

**2001.05 営業開始**  
**SBI Mortgage SBIモーゲージ**  
日本初のモーゲージバンク(証券化を資金調達手段とした住宅ローン貸出専門の金融機関)。業界最低水準金利での長期固定金利住宅ローンの提供を実現しています。

現在は... (2009.03時点)  
住宅ローン実行残高 / 4,639億円

**2004.07 連結子会社化**  
**MORNINGSTAR モーニングスター**  
米国モーニングスターの持つ高い評価能力とSBIグループの有するインターネットを主軸とした情報インフラ技術をうまく融合させ、投資信託評価を含めた総合的な金融情報を提供しています。

現在は... (2009.03時点)  
ポートフォリオ登録者数 / 約4万人

**2004.02 連結子会社化**  
**SBI VeriTrans SBIベリトランス**  
インターネット決済のインフラ構築により、EC(電子商取引)決済のリーディングカンパニーとして日本のEC市場を常にリード。業界の成長を支えるEC総合インフラサービス事業者として、成長を続けています。

現在は... (2009.03時点)  
利用店舗数 / 2,717店舗

**2005.07 商号変更**  
**SBI Holdings**  
ソフトバンク・インベストメント(株)からSBIホールディングス(株)に商号変更。持株会社体制へ移行しました。

**2007.02 設立**  
**SBI Ven Capital Pte. Ltd. SBI VEN CAPITAL**  
当社のシンガポール現地法人であるSBI VEN CAPITALでは、アジアを中心とした潜在成長力の高い新興国への投資を行いながら、ファンドの運用・管理を行っています。

**2007.08 営業開始**  
**SBI Japannext SBIジャパンネクスト証券**  
私設取引システム(PTS)運営。取引所の取引時間とオーバーラップする取引時間帯を設けることで、より多くの取引機会を投資家に提供。さらに利便性の高い電子取引市場を目指しています。

現在は... (2009.03時点)  
取引時間 / [昼間] 8:20~16:30、[夜間] 19:00~23:59、翌0:30~2:00  
月間売買代金 (2009年3月 / 月次ベース) / 666億円

**2007.09 開業**  
**SBI Sumishin Net Bank 住信SBIネット銀行**  
インターネット専門銀行ならではの特性を活かした、利便性の高い商品やサービスを提供。また、SBI証券との連携により、銀行口座と証券口座とのシームレスなサービス提供を実現しています。

現在は... (2009.03時点)  
口座数 / 418,489口座 ※2009年3月期第4四半期(1~3月)に黒字化

**2008.01 開業**  
**SBI損害 SBI損害保険**  
インターネットの利便性を最大限活用し、よりリーズナブルな保険料でお客さま一人ひとりに最適な自動車保険を提供。また、事故やトラブルの対応についても万全のサポート体制を実現しています。

現在は... (2009.03時点)  
自動車保険 契約数 / 約42,000件 (計上ベース / 累計)

**2008.04 開業**  
**SBI アクサ生命 SBIアクサ生命保険**  
日本初のインターネット完結型生命保険会社。インターネット活用による徹底した運営コストの削減で、業界最低水準の保険料を実現する一方、豊富な知識を持つスタッフによる質の高いサービスを提供しています。

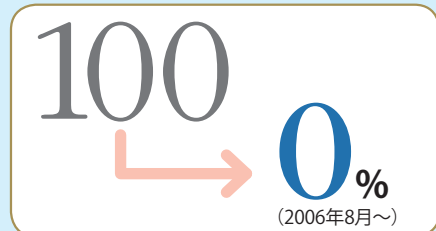
現在は... (2009.03時点)  
定期・医療保険(合計) 新規契約成立件数 / 5,400件超 (累計)

**2008.11 営業開始**  
**SBI Liquidity Market SBIリクイディティ・マーケット**  
リクイディティ(流動性)が担保された利便性の高いFX取引環境を証券会社等に提供することで、日本の個人投資家が低コストで安全・安心にFX取引を行える環境を整備しています。

現在は... (2009.03時点)  
口座数 (SBI FX α) / 115,783口座

設立からわずか10年という期間で、インターネットをベースとした金融業を中心に据え、世界でも極めてユニークな金融コングロマリットとして成長を遂げた、当社グループの変化を数字で追ってみました。

## ソフトバンク※による当社株式保有比率



※子会社を通じての保有

当社は1999年、ソフトバンク・ファイナンス(株)傘下において、ベンチャー企業の支援・育成活動を行うことを目的としてソフトバンク・インベストメント(株)として設立されました。2005年7月には「SBIホールディングス」と商号を改め、様々な企業生態系を有する持株会社体制へと移行しました。

2006年8月、ソフトバンクの子会社による当社全株式の売却により、ソフトバンクとの資本関係を解消し、ソフトバンクグループから完全に独立いたしました。なお、同社とは引き続き事業上の提携などを通じて友好な関係を維持しております。

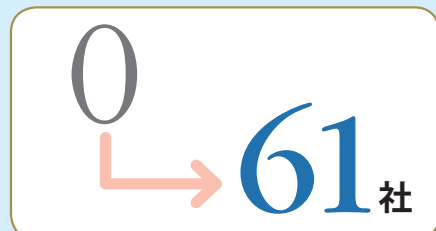
## 従業員数(連結)



設立当初、55名の人員にてスタートした当社グループは、現在、連結従業員2,492名を有する総合金融グループへと発展いたしました。個別企業で見ますと、最も多くの従業員を有するのはSBI証券(2007年10月にSBIイー・トレード証券と旧SBI証券が合併)の539名となっており、SBIホールディングス単体では226名となります。

また、国内のみならず、海外拠点を置くシンガポールや中国などにも、グループ内から社員が駐在し、日々業務を行っております。

## グループ連結子会社数※



※ファンドを除く

当社グループには2009年3月末現在、上場会社を含む61社の連結子会社があり、グループ内にて相互のポジティブなシナジー効果を生み出すべく、企業生態系を形成することでグループとして成長を続けております。上場会社については、投資信託の評価を第三者機関として中立な立場から行うモーニングスターや、電子商取引(EC)決済インフラを提供するSBIペリトランスなど、黎明期より業界を支え、牽引してきた企業が存在しております。

# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表(要約)

(百万円)

科目	前期末 2008.3.31	当期末 2009.3.31	科目	前期末 2008.3.31	当期末 2009.3.31
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
流動資産	1,069,271	<b>851,408</b>	流動負債	740,633	<b>623,448</b>
現金及び預金	160,281	<b>127,123</b>	短期借入金	53,831	<b>54,658</b>
営業投資有価証券	110,750	<b>99,029</b>	1年内償還予定の社債 <b>ポイント2</b>	106,460	<b>41,480</b>
預託金 <b>ポイント3</b>	313,930	<b>266,365</b>	信用取引負債 <b>ポイント3</b>	144,114	<b>146,270</b>
信用取引資産 <b>ポイント3</b>	292,882	<b>180,800</b>	受入保証金 <b>ポイント3</b>	272,005	<b>258,068</b>
その他	191,425	<b>178,088</b>	その他	164,221	<b>122,970</b>
固定資産	149,723	<b>224,685</b>	固定負債	82,879	<b>29,193</b>
有形固定資産	12,652	<b>8,577</b>	特別法上の準備金	7,967	<b>7,253</b>
無形固定資産 <b>ポイント1</b>	71,088	<b>145,892</b>	負債合計	831,480	<b>659,894</b>
投資その他の資産	65,983	<b>70,214</b>	<b>純資産の部</b>		
繰延資産	252	<b>3,139</b>	株主資本 <b>ポイント1</b>	231,195	<b>360,456</b>
			評価・換算差額等	10,020	<b>▲6,937</b>
			新株予約権	4	<b>11</b>
			少数株主持分 <b>ポイント1</b>	146,546	<b>65,808</b>
			純資産合計	387,766	<b>419,338</b>
資産合計	1,219,247	<b>1,079,233</b>	負債純資産合計	1,219,247	<b>1,079,233</b>

### ポイント1

SBI証券の完全子会社化に伴い、無形固定資産の“のれん”が増加した一方、純資産の部において少数株主持分が減少し、株主資本が大幅に増加しました。

### ポイント2

2008年9月に当社において500億円、2009年3月にSBI証券において500億円の普通社債を償還しました。

### ポイント3

SBI証券を連結しているため、流動資産においては預託金や信用取引資産、流動負債においては信用取引負債や受入保証金などの証券会社特有の勘定が含まれています。これらの勘定が、連結バランスシートを大きく見せる要因となっています。

# 連結財務諸表

## 連結損益計算書(要約)

(百万円)

科目	前期 2007.4.1~2008.3.31	当期 2008.4.1~2009.3.31
売上高	222,567	<b>130,922</b>
売上原価	115,343	<b>63,633</b>
売上総利益	107,223	<b>67,289</b>
販売費及び一般管理費	64,616	<b>62,885</b>
営業利益	42,606	<b>4,403</b>
営業外収益	1,129	<b>2,423</b>
営業外費用	8,048	<b>6,790</b>
経常利益	35,687	<b>37</b>
特別利益	7,797	<b>12,269</b>
特別損失	14,665	<b>28,438</b>
税金等調整前当期純利益(▲は損失)	28,819	<b>▲16,132</b>
法人税等	17,273	<b>6,148</b>
少数株主利益(▲は損失)	7,317	<b>▲3,905</b>
当期純利益(▲は損失)	4,228	<b>▲18,375</b>

### ポイント1

E\*TRADE Korea株式の売却に伴う投資有価証券売却益を計上したことにより、特別利益が増加しました。

### ポイント2

民事再生手続き開始の申し立てを行ったゼファー株式の売却に伴い、投資有価証券売却損を計上したこと、および株式を相互保有する住友信託銀行株式会社について、投資有価証券評価損を計上したことなどにより、特別損失が増加しました。

## 連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(百万円)

科目	前期 2007.4.1~2008.3.31	当期 2008.4.1~2009.3.31
営業活動によるキャッシュ・フロー	50,073	<b>103,034</b>
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲20,610	<b>▲1,104</b>
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲9,957	<b>▲137,514</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲931	<b>▲102</b>
現金及び現金同等物の増減額(▲は減少)	18,574	<b>▲35,686</b>
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	25,364	<b>2,875</b>
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	▲23	<b>▲107</b>
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	<b>223</b>
現金及び現金同等物の期首残高	115,092	<b>159,007</b>
現金及び現金同等物の期末残高	159,007	<b>126,312</b>

### ポイント1

SBI証券を連結しているため、信用取引資産および信用取引負債の増減や顧客分別金の増減等、証券会社特有の勘定の増減が営業活動によるキャッシュ・フローの変動に大きく影響します。

### ポイント2

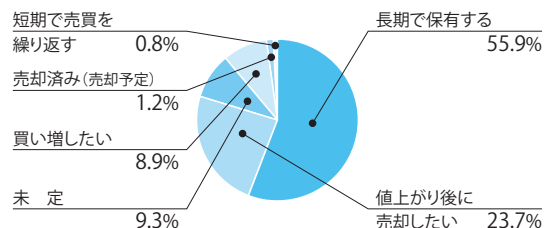
当社ならびにSBI証券において、それぞれ500億円の普通社債の償還を行ったことが大きく影響し、財務活動によるキャッシュ・フローは大きくマイナスとなっています。



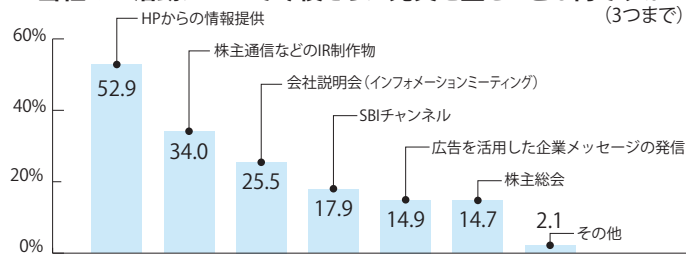
# 株主さまアンケートの結果

「株主通信 第11期中間報告書」において実施したWEBアンケートについて、約1,300名の株主さまからご回答をいただきました。以下にアンケート結果の一部をご紹介します。ご協力、誠にありがとうございました。

## ■ 当社株式に対してどのような方針をお持ちですか？

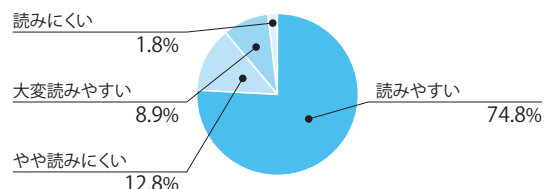


## ■ 当社のIR活動について今後さらに充実を望むことは何ですか？ (3つまで)



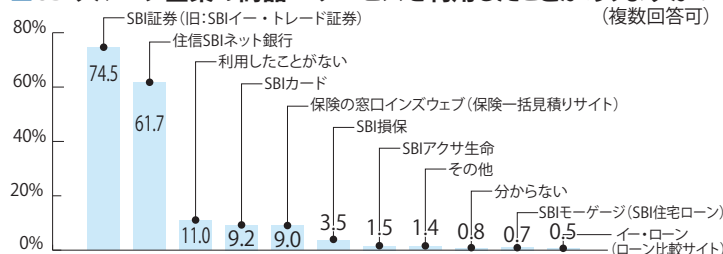
→ 会社説明会(インフォメーションミーティング)については継続的に実施するとともに、IR制作物・HPサイトのさらなる充実・改善に努めてまいります。

## ■ 今回の株主通信はいかがでしたか？



→ 引き続き株主の皆さまにとって読みやすく、内容の充実した株主通信の制作に努めてまいります。

## ■ SBIグループ企業の商品・サービスを利用したことがありますか？ (複数回答可)



→ 当社グループの中でも特にSBI証券、住信SBIネット銀行のサービスを多くの方に愛顧いただいております。

## ＜自由記述欄より＞

### ◆ インフォメーションミーティングを休日に実施してもらいたい。

→ 2008年11月、東京会場でのインフォメーションミーティングを土曜日開催とさせていただいたところ、前回と比べまして同会場の出席者数(1,476名→1,050名)、出席率ともに減少する結果となりました。次回以降の休日開催については、こうした点も勘案しつつ、株主さまの参加状況を考慮しながら検討してまいりたいと思います。

### ◆ 業種や事業内容にカタカナ用語が多い。

→ 今回の株主通信につきましては、なるべく分かりやすい文章表現を心がけるとともに、今後とも株主の皆さまにとって、より理解しやすく読みやすい誌面づくりを行うよう努めてまいります。

他、多数のご意見をいただきました。いただいた内容につきましては真摯に受け止め、貴重なご意見として今後のIR活動の参考にさせていただきます。

# 会社情報

## 会社概要 (2009年3月31日現在)

社名 SBIホールディングス株式会社  
 英文表記 SBI Holdings, Inc.  
 本社 東京都港区六本木一丁目6番1号  
 事業内容 株式等の保有を通じた企業グループの統括・運営等  
 設立 1999年7月8日  
 資本金 55,214百万円  
 従業員数 連結2,492名 単体226名

## 株式の状況 (2009年3月31日現在)

発行可能株式総数 34,169,000株  
 発行済株式総数 16,768,733株  
 株主数 208,856名

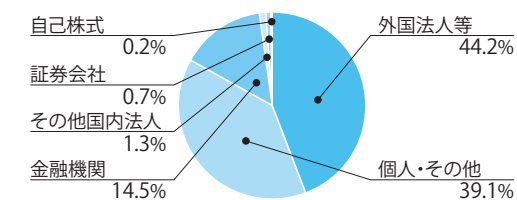
### ◆ 大株主(上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
シービーニューヨークオービス エスアイシーアーヴィー	1,470,365	8.8
シービーニューヨークオービス ファンズ	1,247,773	7.4
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口4G)	720,075	4.3
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	557,968	3.3
ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニーレギュラーアカウント	497,924	3.0
クレディスイス セキュリティズ(ヨーロッパ)リミテッド	386,541	2.3
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	380,937	2.3
北尾 吉孝	304,030	1.8
住友信託銀行(株)	198,933	1.2
ドイチェバンクアーゲー ロンドン 610	192,401	1.1

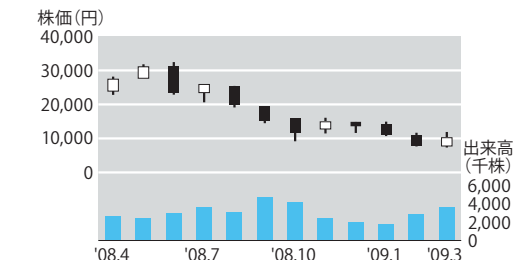
## 役員 (2009年6月26日現在)

代表取締役 執行役員 CEO 北尾 吉孝  
 取締役 執行役員 CFO 澤田 安太郎  
 取締役 執行役員 平井 研司  
 取締役 執行役員 中川 隆  
 取締役 執行役員 朝倉 智也  
 取締役 執行役員 沖田 貴史  
 取締役 執行役員 円山 法昭  
 取締役 執行役員 森田 俊平  
 取締役 井土 太良  
 取締役 城戸 博雅  
 取締役 木村 紀義  
 取締役 田坂 広志  
 取締役 夏野 剛  
 常勤監査役 渡辺 進  
 監査役 平林 謙一  
 監査役 島本 龍次郎  
 監査役 藤井 厚司

### ◆ 所有者別株式分布状況



### ◆ 株価/出来高の推移



# SBIグループ主要企業一覧

アセットマネジメント事業	投資事業組合等の管理・運用	SBIインベストメント(株) SBIブロードバンドキャピタル(株) ソフトトレンドキャピタル(株) SBIキャピタル(株) SBIキャピタルソリューションズ(株)
	国内外のベンチャー企業等への投資	SBIホールディングス(株) SBI KOREA HOLDINGS CO.,LTD. SBI VEN CAPITAL PTE. LTD.
	投資顧問・その他事業	SBIアセットマネジメント(株) SBIバイオテック(株) SBIアラプロモ(株)
ブローカレッジ & インベストメントバンキング事業	証券業・商品先物取引業	(株) SBI証券 SBIフューチャーズ(株) SBIジャパンネクスト証券(株) SBIファンドバンク(株) SBIリクイディティ・マーケット(株)
ファイナンシャル・サービス事業	マーケットプレイス ファイナンシャル・プロダクト ファイナンシャル・ソリューション事業等	SBIホールディングス(株) (ファイナンシャル・サービス事業各事業部) モーニングスター(株) ゴメス・コンサルティング(株) SBIペリトランス(株) SBIリース(株) SBIイコール・クレジット(株) SBIポイントユニオン(株) オートックワン(株)
	新規事業	住信SBIネット銀行(株) SBI損害保険(株) SBIアクサ生命保険(株) SBIカード(株) SBIカードプロセッシング(株)
住宅不動産関連事業	不動産事業	SBIホールディングス(株) (不動産事業本部) (株)リビングコーポレーション
	不動産金融事業	SBIモーゲージ(株) (株)セムコーポレーション
	生活関連ネットワーク事業	SBIホールディングス(株) (生活関連ネットワーク事業本部) ホメオスタイル(株) イー・ゴルフ(株)
システムソリューション事業	システム企画・設計・運用業務等	SBI Robo(株) SBI ネットシステムズ(株)

# 株主さまへのお知らせ

## 株主優待制度に関するお知らせ

2009年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された株主さまを対象とし、当社子会社SBIポイントユニオンが運営するポイントサイト「EGサテライト」で利用可能なポイントを贈呈する株主優待を前期に引き続き実施いたします。

### ■ 優待内容

SBIポイントユニオンが発行しておりますポイント「ありがトン」を、以下の基準により贈呈いたします。

所有株式数(2009年3月31日現在)	贈呈ポイント数
1株以上 10株未満	500ポイント
10株以上 30株未満	1,000ポイント
30株以上 50株未満	3,000ポイント
50株以上 100株未満	5,000ポイント
100株以上 300株未満	10,000ポイント
300株以上	30,000ポイント

### ■ ポイント「ありがトン」の獲得方法

株主優待専用ページにアクセスします。  
<http://yutai.sbigroup.co.jp>

「EGサテライト」のログインIDとパスワードでログインします。  
※「EGサテライト」の会員登録がお済みでない場合は事前に新規会員登録が必要になります。

株主番号、郵便番号、氏名を入力します。

所有株式数に応じて、EGサテライトのポイント通帳に優待による贈呈ポイントが反映され、ポイントの利用が可能となります。

### ■ 受付期間

2009年6月26日～2010年5月31日

※ポイント「ありがトン」の有効期限は、EGサテライトのポイント通帳に反映されてから3年間です。

### ■ ポイントサイト「EGサテライト」とは?

SBIポイントユニオンが運営するポイントサイトで、ポイント「ありがトン」が貯まる・使えるサイトです。SBIグループのサービスを利用したり、ログインしてネットショッピングするだけでポイントを貯めることができ、貯まったポイントは現金や商品に交換することができます。また、ポイント「ありがトン」は他のポイント・マイルなどへ交換可能です。

EGサテライト <http://egsatellite.jp/>

### ■ お問い合わせ

SBIホールディングス株式会社 株主優待 専用コールセンター  
TEL.03-6864-1664

[受付]月～金曜日 9:00～18:00 (祝日を除く)

株主優待専用ページ <http://yutai.sbigroup.co.jp>

### ● 特別口座について

いわゆる「株券電子化」実施時(平成21年1月5日)に、ほふりに株券を預託されなかった株主さまのデータにつきましては、当社の株主名簿管理人であるみずほ信託銀行において、当社が開設いたしました「特別口座」に記録されております。  
なお、「特別口座」に記録された株式数等につきましては、平成21年2月にみずほ信託銀行より、株主さま宛にご通知させていただいております。  
「特別口座」から「一般口座」への振替請求は、下記までお問い合わせください。

#### (特別口座管理機関のご連絡先)

東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部  
電話お問い合わせ先 **0120-288-324** (フリーダイヤル)  
受付時間/9:00～17:00 (土日祝日を除く)

### ● 上場株式配当等の支払に関する通知書について

租税特別措置法の平成20年改正(平成20年4月30日法律第23号)により、平成21年6月にお支払いする配当金について、株主さま宛に「支払配当金額」や「源泉徴収税額」等を記載した「支払通知書」を通知することとなりました。  
配当金を配当金領収証にて受け取られる株主さまには来年度の確定申告手続きに合わせて平成21年末～平成22年初頭ごろに「支払通知書」を送付いたしますので、ご覧ください。

(なお、口座振込を指定されている株主さまは配当金をお受け取りの際に送付されている「配当金計算書」が「支払通知書」となりますので、引き続き確定申告の際の添付資料としてご使用ください。)